

特集

「見える化」時代の地域診断

なぜ、「見える化」が必要なのか 早川岳人

生活習慣病対策における健康課題把握のためのデータ活用

横山徹爾

【事例】

①滋賀県国保連合会の取り組み 岩見さゆり

②瀬戸市の取り組み 大島亜友美

③武豊町の取り組み 岩崎由紀子

④富山県砺波厚生センターの取り組み 大江 浩／若杉 央

地域診断に役立つウェブサイト一覧 編集室

TOPICS

「母と子のいのちをつなぐ『スマイル相談』対応ブック」を
活用した勉強会報告 橋本栄里子／田口朝子／田尻由貴子

PHOTO

自主グループで楽しく歩いて健康づくり

広島市安芸区におけるシニア健康ウォーキング講座

連載

健康インセンティブ制度見聞録 西内義雄

聞き書き 保健師ものがたり[特別区編] 木村哲也

統括保健師の日々 加生明美

現場の疑問に答える 地域づくり型保健活動 Q&A 岩永俊博

ナカイト発 保健師へのつぶやき 中板育美

ニュースウォーク 白井正夫

編集後記

●東日本大震災以降も、日本では何度も地震が起きています。熊本
のあとは鳥取でも地震による大きな
被害がありました。残念ながら人間
は地震に対して無力で、防災と減災
に努めるしかありません。その中
で、支援と受援の体制がしっかりあ
ることは、災害が起きたときに二次
災害を防ぎ、早期復興にもつながる
というのが今回の特集の主眼です。
今回の内容が役立つものであること
を願うとともに、この情報を使わず
にすれば、それに越したことはない
と思います。(杉之尾)

●東日本大震災や熊本地震では、
被災自治体へ多くの人的・物的支
援がされました。しかし、指揮調
整部門が機能不全に陥ったため、
有効活用に結びつきませんでした。
それを補佐することを目的に
DHEAT が整備されます。DMAT
との違いは、“行政による行政の
支援”であること。1 チームあたり
5 名程度の多職種で構成されます
が、保健師へのニーズは少なくない
でしょう。従来からの派遣保健
師も含め、災害危機管理における
保健師の役割がさらに問われそう
です。(和田)

保健師ジャーナル 第73巻2号 2017年2月10日発行(毎月1回10日発行)

発行：株式会社医学書院 代表者 金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd, 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2017, Printed in Japan

1部定価：本体 1,400 円＋税

2017 年年間購読料(送料弊社負担) 冊子版：本体 14,280 円＋税、冊子＋電子版/個人：本体 17,280 円＋税、

電子版/個人：本体 14,280 円＋税

販売部：☎(03)3817-5659 保健師ジャーナル編集室：☎(03)3817-5774 ✉hokenshi@igaku-shoin.co.jp 担当：和田／杉之尾／伊藤

Twitter http://www.twitter.com/hokenshiJ Facebook http://www.facebook.com/hokenshiJ

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。
本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例
外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為
を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、
代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【COPY】〈出版者著作権管理機構委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話
03-3513-6969, FAX03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。

*「保健師ジャーナル」は株式会社医学書院の登録商標です。